

### 裏小路における基本的な取組の位置付け

裏小路における基本的な取組は、裏小路におけるまちなみづくりとみちづくりの基本となるものです。平成26年度に開催した「裏小路まちなみづくりワークショップ」の検討結果を踏まえ、裏小路らしいまちなみづくりとみちづくりを目指し、基本となる3つの考え方やまちなみコンセプト、取組の方向性や検討すべき取組を示します。



### 1 まちなみづくりとみちづくりの基本となる3つの考え方

裏小路らしいまちなみづくりとみちづくりに向け、岩槻歴史街道基本方針に定められた3つの方針に基づき、次の3つの考え方を基本に進めるものとします。

なお、これらの考え方は、裏小路らしいまちなみづくりとみちづくりを目指し、平成28年2月20日に設立された住民等と市の架け橋となる「裏小路まちなみづくり協議会」（以下「協議会」という。）の規約第2条（目的）及び第4条（活動内容）の内容も含まれています。

- ① 住民等と市の協働で進めます  
「こんなまちなみにしたい」との思いの実現に向け、住民等と市の協働で一体的に進めます。
- ② 裏小路らしさを目指します  
暮らしやすさやにぎわいなど、まちづくりに関する様々な視点から、裏小路らしさを考えます。
- ③ 継続的に活動します  
若手からご年配の方まで、多様な世代が力を合わせ、継続的に活動を進めます。

### 2 まちなみコンセプト

裏小路におけるまちなみづくりとみちづくりは、「こんなまちなみにしたい」との思いが込められた「まちなみコンセプト」を設定し、裏小路らしいまちなみ等の実現に向け進めます。



### 3 取組の方向性

「まちなみコンセプト」を踏まえ、理想とするまちなみの実現に向けた「取組の方向性」を以下に示します。

- 歴史・文化を感じられる
- にぎわいがある
- 四季を楽しめる
- 調和した落ち着いた雰囲気
- 安全でやさしい
- 裏小路らしさ

「2 まちなみコンセプト」と「3 取組の方向性」、及び「5 将来のイメージ」は平成26年度に開催した裏小路まちなみづくりワークショップのまとめを基に作成しています。

### 4 検討すべき取組

「取組の方向性」を踏まえ、地域資源を生かしながら、まちなみづくりとみちづくりを進める上で「検討すべき取組」を次のとおりまとめます。

**まちなみづくり(住民等主体)** 作成する「まちなみのルール」において、検討すべき項目です。

<b>建築物</b>	歴史・文化と調和し、落ち着いた雰囲気を感じながら、にぎわいのあるまちなみを創出します。 例) 外壁の色、屋根・ひさし、玄関・窓・建築設備の目隠し、壁面後退等	<b>工作物</b>	歴史・文化と調和し、落ち着いた雰囲気を感じられるまちなみをつくれます。 例) 門・塀、駐車場などの目隠し、車庫、塀などの後退等
<b>植栽</b>	植栽により季節を感じ、四季を楽しめるまちなみを演出します。 例) 立ち木、緑化、生垣等	<b>屋外広告物</b>	歴史・文化と調和し、落ち着いた雰囲気を感じながら、にぎわいのあるまちなみを演出します。 例) 自動販売機、看板等
<b>まちなみのルールの性格</b>	任意とするのか、法的拘束力も持たせるのかなど、作成する「まちなみのルール」の性格については、まちなみづくりの進捗も踏まえて検討します。 例) 任意協定、景観協定、地区計画等		

**みちづくり(市主体)** まちなみの検討を踏まえ、実施に向けて検討すべき項目です。

<b>舗装</b>	歴史・文化を生かしたまちなみと調和するよう、舗装の種類について検討します。 例) 石畳(天然石、人工石、石畳調)、ストリートプリント等	<b>交通対策</b>	歴史・文化を生かしたまちなみと調和しながら、安全で歩行者等にやさしい交通対策を検討します。 例) 物理的対策(ハンプ、狭さくなど)交通規制等(一方通行など)
<b>照明</b>	歴史・文化を生かしたまちなみと調和し、落ち着いた雰囲気を感じながら、安全でにぎわいを創出する照明を検討します。 例) 行燈型照明灯、フットライト、環境配慮型防犯灯等	<b>無電柱化</b>	歴史・文化を生かしながら、季節の空を感じられるまちなみを検討します。 例) 電線共同溝、ソフト地中化、裏配線、軒下配線等

まちなみづくりとみちづくりの調和

### 5 将来のイメージ

将来のイメージは、「検討すべき取組」を展開した例として、四季を感じる「春」をテーマにスケッチで表現しています。将来のまちなみを視覚的に共有しながら、継続的に活動します。



「春」をテーマとするスケッチ

スケッチの説明

梅や桜など季節を感じられる花木や植栽、和風・昔風の板塀や築地塀の設置、石畳調の舗装整備を行っています。